

VMware Aria Hub powered by VMware Aria Graph

概要

VMware Aria Hub™ は、VMware Aria™ ポートフォリオ全体を統合するマルチクラウド管理プラットフォームです。VMware Aria Hub により、IT 部門は、多くのカスタム統合やワークフローを必要とすることなく、複数の管理領域やクラウドにまたがるエンドツーエンドの問題に対処し、解決できます。VMware Aria Hub は、マルチクラウド環境のリソースと関係性のデータを取得するグラフベースのデータストアである VMware Aria Graph™ を基盤としています。VMware Aria Graph は、クラウドネイティブなアプリケーションおよび環境における運用上の課題に対応するように設計されており、ほぼリアルタイムでアップデートされる信頼できる唯一の情報源を提供します。

クラウドネイティブ アプリケーションとマルチクラウド アセットの管理

パブリッククラウド全体やエッジでアプリケーションを提供する企業が増えており、モダナイズされたクラウドネイティブ アプリケーションを Kubernetes を使用して管理、拡張するケースもますます増えています。しかし、マルチクラウド環境やマルチテクノロジー環境におけるインフラストラクチャとアプリケーションの管理は複雑です。マルチクラウド環境が定着するなかで、複数の異なるクラウド全体のクラウドコスト、リソース使用率、アプリケーションのパフォーマンス、セキュリティおよびコンプライアンスを包括的に管理することは難しく、結果的に予算の超過、非効率性、リスクの増加を招く可能性があります。チームは、このような分散した多様な環境全体で、コストを制御し、パフォーマンスを確保し、一貫したセキュリティ ポリシーを管理する必要があります。

マルチクラウドは大きなメリットをもたらす一方で、新たな複雑さも生み出します。これは、数万のオブジェクト、サービス、コンテナ、アプリケーションが数百件のプロジェクトと数千人のユーザーによって使用されるからです。このため、現在のアプローチでは対応が困難な、より複雑化した新しい管理上の課題が発生します。管理領域やクラウド環境ごとに個別のツールを使用することで、サイロ化し、分断されたチームは、複数のクラウドにまたがるプロセスの管理に苦慮しています。このような複数の管理領域やクラウドプラットフォームにまたがる課題に対処するには、新しいアプローチが必要です。

VMware Aria Hub

VMware Aria Hub は、VMware Aria ポートフォリオ全体を統合するマルチクラウド管理プラットフォームです。マルチクラウド環境全体を管理するための一元的なビューと制御を提供します。このプラットフォームは、アプリケーション、ユーザー、構成などのクラウド リソースの検出、および関連する依存関係の理解を支援します。また、統合管理によって、複数のマルチクラウド環境全体でアプリケーション、アカウント、ロール、プロジェクト、ワークフローを単一のインターフェイスで管理できるようにします。

マルチクラウド管理プラットフォームは、お客様が戦略的なクロスクラウドのユースケースをサポートするために活用できる、一連の新しい付加価値ソリューション サービス セットの基盤としても機能します。エンドツーエンドのソリューションが VMware Aria Hub 上に常駐し、複数のツールやドメインと統合されたワークフローを提供します。

主なメリット

- クロスクラウドの可視性とインサイト：あらゆるソースから関連性のあるデータを取得して、アプリケーションの分析とデバッグを迅速化するとともに、複数のクラウド全体のアプリケーションとワークロードのコスト、パフォーマンス、構成を包括的に可視化します。
- クロスクラウドのセキュリティと制御：環境とアプリケーションの安全性を高め、アプリケーションのパフォーマンスと可用性を確保し、複数のクラウド全体でコストを最適化します。
- クロスクラウドのワークフローの自動化：アプリケーション移行の評価、計画、実行の自動化や、コンプライアンス要件に適合する標準化されたパブリッククラウドランディングゾーンの作成の自動化などの一般的なワークフローを迅速化および簡素化して、マルチクラウドのガバナンスを強化します。
- クロスクラウドのコラボレーションと連携：リソース、関係性、変更履歴、アプリケーション、アカウントに関する共通の理解に基づいて複数のチームとソリューションを連携させ、チームがマルチクラウドの複雑なユースケースに対応できるようにします。

VMware Aria Graph

VMware Aria Graph は、マルチクラウド環境のリソースと関係性のデータを取得するグラフベースのデータストアです。スケーラビリティに優れたテクノロジーで、数億ノードにまで拡張することができます。VMware Aria Graph は、クラウドネイティブなアプリケーションおよび環境における運用上の課題に特化して設計されており、ほぼリアルタイムでアップデートされる信頼できる唯一の情報源を提供します。

データストアでは依存関係マッピングの多対多の関係の取得、および根本原因分析に不可欠な構成の履歴の表示が可能です。VMware Aria Graph はイベントベースの収集機能を提供して、高速な変化にも対応します。データストアは、変更イベントが発生するたびにきめ細かいレベルで情報を収集します。

モジュール型の統合アーキテクチャを基盤とするこのグラフベースのデータストアは、あらゆるソースからデータを集約します。また、プラグアンドプレイ方式でサードパーティ製ツールからのデータも取り込みます。これにより、すべての運用データは単一の包括的な情報源として表示され、よりの確な意思決定と業務効率の向上を実現できます。

さらに、VMware Aria Graph では統合 GraphQL API によって、開発者と IT 運用チームの両方による利用を簡素化します。統合 GraphQL API は、開発者が使いやすい、一貫性のある単一の、マルチクラウド環境へのインターフェイスです。的確な GraphQL クエリにより、非常に効率的で迅速なデータアクセスが可能になります。

エンドツーエンドのソリューション

VMware Aria Graph テクノロジーは、VMware Aria Cost™ powered by CloudHealth®、VMware Aria Operations™、VMware Aria Automation™ など、VMware Aria マルチクラウド管理ソリューションの中核をなすすべてのソリューションに採用されています。また、マルチクラウドのガバナンス (VMware Aria Guardrails™)、アプリケーションの移行 (VMware Aria Migration™)、トラブルシューティング (VMware Aria Business Insights™) などのユースケースに対応するエンドツーエンドのマルチクラウド管理ソリューション一式を強化します。これらはすべて VMware Aria Hub の統合された使用環境とワークフローを通じて利用できます。

VMware Aria Guardrails

VMware Aria Guardrails¹ は、マルチクラウドのガバナンスとポリシー管理機能を提供します。Infrastructure-as-Code および Policy-as-Code のアプローチにより、マルチクラウド環境でのネットワーク、セキュリティ、コスト、パフォーマンス、構成に関するクラウドガードレールの適用を大規模に自動化します。VMware Aria Guardrails は、環境とアプリケーションの安全性を高め、アプリケーションのパフォーマンスと可用性を確保し、複数のパブリッククラウド全体でクラウドコストを最適化します。

1. VMware Aria Guardrails は、VMware Aria Automation で一般提供されている機能です。

VMware Aria Hub powered by VMware Aria Graph は、あらゆるクラウド、プラットフォーム、ツール、ペルソナに対応する共通のコントロールプレーンとデータモデルを備え、コスト、パフォーマンス、構成、デリバリの自動化を単一のプラットフォームに統合します。

VMware Aria Migration

VMware Aria Migration² は、一部のアプリケーションやワークロードを別のクラウドに移行したほうがよいかどうかの判断を支援します。セキュリティ、パフォーマンス、コスト、時間に関する組織の目標に基づいて、アプリケーションを特定して最適なクラウドに移行することで、マルチクラウドへの移行を迅速化および簡素化します。

VMware Aria Business Insights

VMware Aria Business Insights³ は、AI/機械学習（ML）分析を活用し、フルスタックのイベントの相関から関連性のあるインサイトを見つけます。これにより、ビジネスのダウンタイムをなくし、平均修復時間（MTTR）を短縮し、将来的な問題を未然に防ぐことができます。

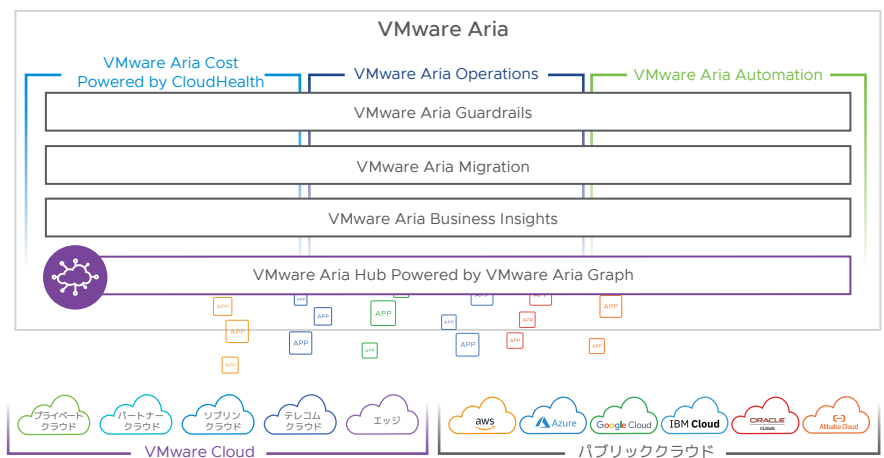


図 1： VMware Aria Hub powered by VMware Aria Graph は、IT 部門が戦略的なクロスクラウドのユースケースをサポートするために活用できる、一連の新しい付加価値ソリューション サービス セットの基盤として機能します。

2. VMware Aria Migration はベータ版です。

3. VMware Aria Business Insights はテクニカル プレビュー中です。

リソース

- 詳細については、[VMware Aria Hub powered by VMware Aria Graph の製品ページ](#)をご覧ください。
- お客様のチームに合わせたマルチクラウド管理プラットフォームのデモの実施については、VMware のエキスパートにお問い合わせください。
- [VMware Pathfinder™](#) では VMware Aria Hub を試用していただけます。
- VMware Aria Hub と Aria Graph の詳細については、[VMware Aria ブログ](#)をご覧ください。
- Twitter でフォロー [@VMware_Japan](#)

導入に向けて

[今すぐ登録](#)して VMware Aria Hub フリー ティア（無償版）をお試しください。VMware Aria Hub フリー ティアでは、Amazon Web Services または Microsoft Azure のいずれかで最大 2 つのネイティブ パブリッククラウド アカウントから、リソースのインベントリ、マッピング、フィルタリング、検索を実行できるほか、複数のクラウド環境でのそれぞれのリソースの、ほかのリソース、ポリシー、その他の重要なコンポーネントとの関係を把握できます。また、VMware Aria Automation for Secure Clouds から得られる Center for Internet Security (CIS) ベンチマーク違反データの可視化と、VMware Aria Cost から得られるリソースのコスト計算の機能も利用できます。さらに、VMware Aria Hub フリー ティアでは、アプリケーションを手動で調整することにより、ほかのビジネス アプリケーションとの依存関係や関係性をより深く理解することもできます。

真のマルチクラウド管理プラットフォーム

VMware Aria Hub は、アプリケーションおよびインフラストラクチャ環境の包括的なほぼリアルタイムの可視性に基づく真のマルチクラウド管理を実現します。VMware Aria Hub は、非常に大きなオブジェクト、高速な変化、運用データの断片化、クラウド間での API の増加といった課題に向け、クラウドネイティブ アプリケーションとパブリッククラウド アセットをサポートするよう設計されています。VMware Aria Hub のコア テクノロジーは、パブリッククラウドにだけでなく VMware Cloud™ 環境にも適用され、ネイティブ パブリッククラウドに加えてプライベートクラウド、ハイブリッドクラウドにまでアプリケーション認識型の管理を提供します。

[VMware Aria Hub powered by VMware Aria Graph の製品ページ](#)では、クラウドスケールのグラフベース データストア テクノロジーを活用する一元的なマルチクラウド管理プラットフォームにより、クラウドネイティブ アプリケーションとマルチクラウドアセット全体の可視化と制御を実現する方法を紹介しています。